

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 公益財団法人京都府国際センター

1. 事業名称 「生活者としての外国人」のための日本語教育体制整備事業

2. 事業の目的

地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や地域国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室立ち上げ・運営についての事業を各市町村と協働して展開し、地域における多文化共生を推進する。

3. 事業内容の概要

- ・府内日本語教室のネットワーク化(各教室同士の顔の見える関係づくりや学習指導・教室運営の方法など情報共有をすることで地域格差をなくすとともに各教室が抱える課題解決の場とする)
- ・府北中部および南部日本語教室と協働した人材育成講座の実施(各地域で日本語学習支援に関わる人材を育成することで外国人住民が学習機会を得られるようにする)
- ・府内市町村へのモデルとしての日本語教室の開催(カリキュラムや指導法を地域日本語教室に公開することで平準化を図る)

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 8月26日 12:30～ 14:30	2時間	綾部市男女共 同参画センター	諏訪 喜栄子 麻田 友子 青木 良子 近藤 徳明	日本語教室、日本語支援ボランティア研修会(福知山市)	・日本語教室の学習教材公開および教室見学について ・日本語支援ボランティア研修会の進捗状況報告
2	平成26年 1月9日 12:30～ 14:30	2時間	綾部市男女共 同参画センター	諏訪 喜栄子 麻田 友子 青木 良子 近藤 徳明	日本語支援ボランティア研修会(福知山市、精華町)、日本語初期指導者養成、日本語支援ボランティア養成講座(亀岡市)	・日本語支援ボランティア研修会の振り返り(福知山市)と進捗状況報告(精華町) ・日本語初期指導者養成講座の実施について ・日本語支援ボランティア養成講座の亀岡市からの開催希望について
3	平成26年 3月16日 13:30～ 14:30	1時間	綾部市男女共 同参画センター	諏訪 喜栄子 渡部 真理 麻田 友子 青木 良子 近藤 徳明	日本語初期指導者養成、日本語支援ボランティア養成講座(亀岡市)、振り返り	・初期指導者養成講座の実施方法について ・日本語支援ボランティア養成講座の実施内容について ・今年度実施した日本語教育事業についての振り返り

5. 取組についての報告

○取組1:京都府日本語教室ネットワーク会議

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・京都府北中部のネットワーク体制を整備することで、各地域の教室が孤立することなく他地域の教室との連携を図れ、それにより府域全体での日本語教育が活性化される。
- ・府北中部日本語教室のネットワーク化を実現することにより養成講座や研修などの人材育成を効果的かつ効率的に実施できる。また、南部ネットワークとの連携により京都府全域における体制整備につなげる。

(2) 取組内容 京都府北中部地域の日本語教室および関係機関のネットワーク会議 主な議題:新規ボランティアの養成、日本語教室の立ち上げ、支援ボランティアに対する研修

(3) 対象者 府内市町村日本語教室担当者

(4) 参加者の総数 22人

(出身・国籍別内訳

日本 22人

(5) 開催時間数(回数) 5時間 (全3回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 8月26日 10:30～ 12:30	2時 間	綾部市男女共 同参画センター	18人	日本(18人)	府北中部に おける日本語 教育体制の 整備	○参加者自己紹介 ○各日本語教室の活動紹介 ○北中部合同研修会について ・役割分担について(各協会は広報および申込受付を担当) ○意見交換 ・教室運営の予算について ・ボランティアへの旅費等の支給について		
2	平成26年 1月9日 10:30～ 12:30	2時 間	綾部市男女共 同参画センター	14人	日本(14人)	府北中部に おける日本語 教育体制の 整備	○日本語支援ボランティア研修会実施報告 ○京都府国際センター日本語支援事業の取組について ○平成26年度ネットワーク会議の開催地域について ○意見交換 ・教室運営について(学習時間、注意点、新規学習者の獲得)		
3	平成26年 3月16日 12:30～ 13:30	1時 間	京都府国際セ ンター	8人	日本(8人)	府北中部に おける日本語 教育体制の 整備	○日本語初期指導者養成講座の実施について ○日本語支援ボランティア養成講座(亀岡市)の実施について ○平成26年度ネットワーク会議の開催地域について ○意見交換		

(7) 参加者の募集方法

京都府内の市町村および国際化協会、日本語教室に開催通知

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

第1回京都府北中部日本語教室ネットワーク会議
議題

- 参加者自己紹介
- 各日本語教室の活動紹介
- 北中部合同研修会について
- ・役割分担について(各協会は広報および申込受付を担当)
- 意見交換
- ・教室運営の予算について
- ・ボランティアへの旅費等の支給について



(9) 取組の目標の達成状況・成果

- ・北中部地域の日本語教育体制整備のための研修や教室の課題解決のための意見交換などが積極的に行われており、形式的でなく実質的な会議となっている。
- ・ネットワーク会議を機に他教室への見学や運営方法の聞き取りなど各参加団体同士の交流も活発になった。

(10) 改善点について

日本語教育体制の整備を推進するためには市町村行政の理解が欠かせないため、市町村担当部署からの参加を促す必要がある。

○取組2:日本語支援ボランティア養成講座

- (1) 体制整備に向けた取組の目標
- ・日本語学習支援が十分に行き届いていない地域において日本語支援ボランティアを養成することで、日本語教室立ち上げを支援し、学習環境の整備につなげる。
 - ・南丹市、亀岡市、京丹波町など府中部地域が協働して実施することで、今後の日本語教室の連携を図る。また、教室立ち上げ後の南部との連携を見据えて講師を南部ネットワーク組織に依頼する。
- (2) 取組内容 府内各地域での日本語教室立ち上げサポートとして日本語支援ボランティアの養成を行う。
- (3) 対象者 講座修了後、日本語支援ボランティアとして活動する意志のある方
- (4) 参加者の総数 41人
(出身・国籍別内訳 日本 41人)
- (5) 開催時間数(回数) 31時間 (全10回)
- (6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 5月11日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	32人	日本(32人)	日本語支援 ボランティアとは	・生活者のための日本語教育 ・日本語教育と国語の違い	浜田麻里(講師)	高橋佐代子、西澤悦子
2	平成25年 5月18日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	31人	日本(31人)	演習1 動詞 のます形・普通形について	・使う場面や使い方を考える ・ます形・普通形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子(講師)	志和晃二、西澤悦子、船戸潤子
3	平成25年 5月25日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	26人	日本(26人)	演習2 動詞 のて形・た形について	・使う場面や使い方を考える ・て形・た形の解説 ・教え方の紹介	志和晃二(講師)	西澤悦子、佐藤久子
4	平成25年 6月1日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	29人	日本(29人)	演習3 動詞 のない形について	・使う場面や使い方を考える ・ない形の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子(講師)	高橋佐代子、渡部真理、船戸潤子、佐藤久子
5	平成25年 6月8日 10:00～ 13:00 13:30～ 14:30	4時間	京都美術工芸大	37人	日本(37人)	実習1 模擬 授業	実習1、2、3で習ったことを使って、実際に外国人学習者に教えてみる、前期振り返り	渡部真理(講師)	高橋佐代子、志和晃二、西澤悦子、佐藤久子、花岡正義、グエンティ・タイン・スオン、チュホン・ティ・ズオン、ホ・ユ、コウ・キョウ、ホアン・マン・チュエン、エン・ショウエン、ティンレイ・ノルブ、トゥクテン・ワンチュク
6	平成25年 6月29日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	28人	日本(28人)	演習4 形容 詞について	・使う場面や使い方を考える ・形容詞の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子(講師)	渡部真理、船戸潤子、佐藤久子
7	平成25年 7月6日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	29人	日本(29人)	演習5 可能 形について	・使う場面や使い方を考える ・可能形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子(講師)	西澤悦子、船戸潤子
8	平成25年 7月13日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	26人	日本(26人)	演習6 敬語 について	・使う場面や使い方を考える ・敬語の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子(講師)	高橋佐代子、佐藤久子
9	平成25年 7月20日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	35人	日本(35人)	実習2 模擬 授業	実習4、5、6で習ったことを使って、実際に外国人学習者に教えてみる	渡部真理(講師)	高橋佐代子、西澤悦子、船戸潤子、佐藤久子、グエンティ・タイン・スオン、チュホン・ティ・ズオン、ホ・ユ、コウ・キョウ、ティンレイ・ノルブ、トゥクテン・ワンチュク、大町百合、林一心
10	平成25年 7月27日 10:00～ 13:00	3時間	京都美術工芸大	38人	日本(38人)	まとめ	京都府における外国人住民の現状、災害時外国人支援について、振り返り	岡佑里子(講師)、杉本篤子(講師)、船戸潤子(講師)	西澤悦子、渡部真理、花岡正義

- (7) 参加者の募集方法
募集案内(府内市町村および国際化協会)、市町広報誌、ちらし、ホームページ

- (8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

第2回「ます形・普通形」

- ・自己紹介(私が話しているのはます形?普通形?)
- ・ます形・普通形について説明
- ・ペアワーク(ます形・普通形を意識する)
- ・日本語教育における普通形の取り扱い
- ・日本語教室ではどちらを使うべきか
- ・模擬授業
- ・グループワーク(初めて教室に来た人へのインタビュー)
- ・文型に使われる普通形
- ・中級での普通形
- ・復習

第5回「外国人学習者を迎えての模擬授業」

- ・グループによる最終確認
- ・外国人学習者の紹介
- ・全体練習
- ・模擬授業の発表
- ・感想・意見交換
- ・講評



- (9) 取組の目標の達成状況・成果
- ・地域における日本語支援活動の経験が豊富な講師陣であったため、これから日本語支援活動をしようという受講者に対して行き届いた内容を提供することができ、アンケート結果や参加者の反応からも概ね満足度が高い講座となった。
 - ・講座修了後、開催地である南丹市では今回参加者から20名のボランティアを得ることができたのに加え、近隣の亀岡市でも受講者が中心となって新たに日本語教室が立ち上がった。
- ※アンケート結果を添付
- (10) 改善点について
- 教室運営や指導方針などについて南丹市、亀岡市ともに研修などのフォローが必要な状況であるため、日本語教室ネットワーク組織や北中部ネットワーク会議などによって対応する必要がある。

○取組3:日本語支援ボランティア研修会

- (1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・各地域で活動する日本語支援ボランティアに対し研修を実施することで、各地域での日本語指導や教室運営の質を高める。特に研修などの機会がない府北中部で活動するボランティアに対してスキルアップの機会を提供する。
- ・日本語指導や教室運営などの研修をボランティアに対して行うことで各地域の日本語教室の質を高め、持続可能なものとする。また市町村と協働で実施することで日本語教育事業の取組やその重要性を知らせる。

- (2) 取組内容 学習者に対してよりよい支援ができるよう、各地域で活動している日本語支援ボランティアに対し日本語指導や教室運営についての研修を行う。

(3) 対象者 日本語支援ボランティアとして活動している方

(4) 参加者の総数 63人

(出身・国籍別内訳

日本 63人

(5) 開催時間数(回数) 24時間 (全8回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成25年 11月2日 13:30～ 16:30	3時間	京都府立中丹 勤労者福祉会 館	25人	日本(25人)	日本語指導 法①	・コースオリエンテーション ・日本語は名詞がポイント(→指示代 名詞、形容詞、名詞修飾、成文)	京都日本語 教育センター 西原純子(講 師)	ウィチャイウオン・ウィラ、 イー・アンドレ、フェリ・フィル マンシャー、ヌグラハ・スイブ ラダナ・プラステア
2	平成25年 11月9日 13:30～ 16:30	3時間	京都府立中丹 勤労者福祉会 館	23人	日本(23人)	日本語指導 法②	・日本語の時制は実に明快 ・動作の流れは動きの連続	京都日本語 教育センター 桑島卓男(講 師)	ウィチャイウオン・ウィラ、 イー・アンドレ、フェリ・フィル マンシャー、ヌグラハ・スイブ ラダナ・プラステア
3	平成25年 11月16日 13:30～ 16:30	3時間	京都府立中丹 勤労者福祉会 館	24人	日本(24人)	日本語指導 法③	・「する」は人のやること、「なる」はそ の結果(→可能形)	京都日本語 教育センター 西原純子(講 師)	ウィチャイウオン・ウィラ、 イー・アンドレ、フェリ・フィル マンシャー、ヌグラハ・スイブ ラダナ・プラステア、ロザ ダ・パブロ、李紅岩
4	平成25年 11月30日 13:30～ 16:30	3時間	京都府立中丹 勤労者福祉会 館	25人	日本(25人)	日本語指導 法④	・「する」ほうと「される」ほう(→やりも らい) ・コースまとめ	京都日本語 教育センター 桑島卓男(講 師)	ウィチャイウオン・ウィラ、 イー・アンドレ、ロザダ・パ ブロ、エイバリー・アドリアン ナ、李紅岩
5	平成26年 1月25日 13:30～ 16:30	3時間	精華町役場	26人	日本(26人)	日本語指導 法①	・コースオリエンテーション ・日本語は名詞がポイント(→指示代 名詞、形容詞、名詞修飾、成文)	京都日本語 教育センター 西原純子(講 師)	ポール・スナイダー、サノ・ケ イコ、ジェイミー・ツツセ、グ エン・ハ・ティ・フン
6	平成26年 2月1日 13:30～ 16:30	3時間	精華町役場	25人	日本(25人)	日本語指導 法②	・日本語の時制は実に明快 ・動作の流れは動きの連続	京都日本語 教育センター 桑島卓男(講 師)	ポール・スナイダー、サノ・ケ イコ、ジェイミー・ツツセ、グ エン・ハ・ティ・フン、レイチェ ル・ヤング、アラナ・ゴルビン スキ、ブラザー・タン・ソフィア
7	平成26年 2月8日 13:30～ 16:30	3時間	精華町役場	25人	日本(25人)	日本語指導 法③	・「する」は人のやること、「なる」はそ の結果(→可能形)	京都日本語 教育センター 西原純子(講 師)	サノ・ケイコ、ジェイミー・ツツ セ、グエン・ハ・ティ・フン、ア ラナ・ゴルビンスキ
8	平成26年 2月22日 13:30～ 16:30	3時間	精華町役場	25人	日本(25人)	日本語指導 法④	・「する」ほうと「される」ほう(→やりも らい) ・コースまとめ	京都日本語 教育センター 桑島卓男(講 師)	ポール・スナイダー、サノ・ケ イコ、ジェイミー・ツツセ、グ エン・ハ・ティ・フン、レイチェ ル・ヤング、アラナ・ゴルビン スキ

(7) 参加者の募集方法

募集案内(府内市町村および国際化協会、日本語教室)、市町広報誌、ちらし、ホームページ

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

日本語支援ボランティア研修会(精華町)第1回

・オリエンテーション

・外国人に日本語を教えるということ(日本語の特徴・個性を伝える、「日本語」という文化)

・文法を面白く学ぶ(日本語の仕組みを知る、学習者に「発見学習」を促す)

・重要な文法項目を考える(日本語は名詞がポイント、日本語の時制は実に明快、動作の流れは動きの連続、日本語のコミュニケーションは文末で完成、強い願望は祈りの言葉、「する」は人のやること。「なる」はその結果、「する」ほうと「される」ほう、感じたことがそのまま言葉に)

・日本語は名詞がポイント

・どのように教えるか

日本語支援ボランティア研修会(精華町)第2回

・前回の復習

- ・日本語の時制は実に明快(日本語の時制は2つだけ、「した」は過去か、「今～ている」の考え方)
- ・動作の流れは動きの連続(“状態の”連続、「落ちている」の意味、「電話している」「眼鏡をかけている」「似ている」)
- ・外国人学習者を迎えての模擬授業(ますーました／ませんーませんでした、ーてください、て形(動詞のグループ分け)、ーています)



(9) 取組の目標の達成状況・成果

- ・北中部においては6市町合同研修として実施したが、指導する上での課題や指導スタイルなど教室の形態がそれぞれ異なるので、どのような研修内容にするかがネックだったが、ネットワーク会議やボランティアへの事前アンケート調査で各団体の意見を取り入れるなど丁寧に準備を行うことで、各団体が満足できる内容での有意義な研修となった。
 - ・日本語学校の協力を得て模擬授業という形で普段の指導方法を示してもらったが、実践的で参考になることが多く、アンケート結果からも参加者の満足度は高いものだった。
- ※アンケート結果を添付

(10) 改善点について

来年度以降も引き続き研修という形でボランティアへの支援は継続していく必要があるが、初期指導などボランティア教室にとっては対応しきれない課題があるので、日本語教育体制整備の観点からすると指導者の有償化などボランティア活動とは別の視点で考える必要がある。

○取組4:「生活者としての外国人」のための日本語教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標 在住外国人に対し生活に必要な日本語の学習機会を提供するとともに、モデル教室とすることで地域格差がある日本語学習支援について平準化を図り、学習者によりよい支援ができるような体制を整える。

(2) 取組内容 日本で生活するために必要な日本語を学習するための教室を開催。府内各地域に対するモデル教室として実施。カリキュラムや教材は公開することを目的として作成。指導方法を学んでもらうため各地域からの教室見学を受け入れるなどして地域の日本語教室運営の参考としてもらう。

(3) 対象者 府内在住外国人

(4) 参加者の総数 29人

(出身・国籍別内訳

中国 8人, アメリカ 5人, カナダ 4人, イギリス 3人, 台湾 2人, 韓国 2人, ベトナム 1人, フランス 1人, インドネシア 1人, オーストラリア 1人, ラオス 1人

(5) 開催時間数(回数) 80時間 (全40回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍・地域(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
----	------	-----	----	------	-----------	--------	----	-------	-------

1	平成25年 10月3日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ① 自己紹介が できる、物の 名前を尋ねる ことができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お(名前、 国)、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／ 何、(国名)のN、どこの	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
2	平成25年 10月7日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ② 売り場を聞く ことができる、 施設などの営 業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用 時間 ・～はここ／そこ／あそこです、～はどこ ですか、数字(0～100)、助数詞(～ 階) ・時間、今何時ですか、～は～時から ～時までです	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
3	平成25年 10月10日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ③ファスト フード店やカ フェで注文で きる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと 聞き取り、助数詞(～円、～枚)、外来 語表記とその発音	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
4	平成25年 10月17日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ④自分の家 族が紹介でき る、自分の誕 生日が言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方(人／年齢)、家族の呼称	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
5	平成25年 10月21日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑤目的地を 尋ねることが できる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、(移動手段) で、Nの(位置詞)に、(場所)から／ま で	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
6	平成25年 10月24日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑥行き先を確 かめてバスや 電車に乗るこ とができる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、(場所) へ／から／まで、～と一緒に、～人 で、(時)に、いつ	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
7	平成25年 10月28日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑦乗り物での 忘れ物を届け 出ることがで きる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、(いadj./なadj.)+Nで す、どんなNですか、(いadj./なadj.) です、～はどうですか	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	

8	平成25年 10月31日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑧旅行の感 想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案 内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、 ～は～がadj.です／でした、それに、で も、挨拶表現	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
9	平成25年 11月7日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑨自分の体 調を医師に伝 えることがで きる、医師の 簡単な指示 が理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、 ～が痛いです	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
10	平成25年 11月11日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑩自分の日 常生活につ いて話すこと ができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、(場所)でVます ／ました、(時)にVます／ました	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
11	平成25年 11月14日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑪贈り物につ いて話すこと ができる	日本の贈り物の習慣について ・(人)にVます／ました、あげます／も らいます	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
12	平成25年 11月18日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑫図書館を 利用する	公共施設(図書館、公民館)の利用方 法 ・Nができます、V辞書形＋ことができ ます	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
13	平成25年 11月21日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑬趣味につ いて話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形＋こと です、Nが好きです、V辞書形＋ことが 好きです、Nが得意です	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
14	平成25年 11月25日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑭駅の券売 機で切符が 買える	自動販売機について ・Vて形＋ください、Vて形＋います(動 作の進行)	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	

15	平成25年 11月28日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑮友達と住ま いや仕事に ついて話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形＋います(習慣・状態)	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
16	平成25年 12月2日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑯自分の希 望・要求を伝 えることがで きる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、(場 所)へ／でVたいです、(人)とVたいで す、「どこか」と「どこへ」の違い、ス ピーチ指導	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
17	平成25年 12月5日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑰ゴミの出し 方について尋 ねることがで きる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形＋もいいですか、どうしてです か、～から(理由)、スピーチ指導	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
18	平成25年 12月9日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑱人を誘った り、人の誘い を受けたりす ることができ る	地域の行事やお祭について ・(場所)で(催し)があります、V+ませ んか、V+ましょう、(場所)へN／Vに 行きます、スピーチ指導	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
19	平成25年 12月12日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑲消防(119 番)に電話で きる	災害時の対応 ・災害時の対応を知る、消防への通報 の仕方	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
20	平成25年 12月16日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	16人	カナダ(4 人)、イギリ ス(3人)、 アメリカ(3 人)、中国 (3人)、韓 国(1人)、 フランス(1 人)、オー ストラリア (1人)	基礎クラスA- ⑳人の前でま とまった話が できる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
21	平成25年 10月3日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム (1人)、韓 国(1人)	基礎クラスB- ① 初対面の挨拶 ができる、 注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフ ード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所＋の＋場所、自 他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・ 助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	

22	平成25年 10月7日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ②自分の国 (町)が紹介 できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNです か、～はどうですか、それに／でも／ けれども(けど)／が、(場所)に(N)が あります／います	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
23	平成25年 10月10日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ③クリニック で診察を受け ることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～ かったです／～くなかったです、なadj. ～でした／～じゃありませんでした	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
24	平成25年 10月17日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ④日本と出身 地が比較でき る	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどちら がadj.ですか、N1(の中)で何／どこ／ だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
25	平成25年 10月21日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑤人を誘う、 誘いを受けたり、上手に 断ったりでき る	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」 「で」「に」「から」「まで」、(場所)へ行 きます／来ます／帰ります、Vません か／ましょう	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
26	平成25年 10月24日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑥趣味・嗜好 について友達 と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・N1はV辞書形ことが～です、V辞書形 ことです、趣味は何ですか Nです	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
27	平成25年 10月28日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑦携帯電話 の契約ができ る	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形いま す、Vて形もいいです(か)	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
28	平成25年 10月31日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑧ルールや マナーを理解 して生活でき る	地域や社会のルールとマナー(マン ションのルールや公共マナーなど) ・Vない形、Vない形＋ください、Vな ければなりません、Vて形＋はいけま せん、どうしてですか ～から	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
29	平成25年 11月7日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑨自分の思 いや経験が 話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがあります ／ありません、(普通体)と思います ／言いました、私もそう思います、私 はそう思いません	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	

30	平成25年 11月11日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑩友達と話す (普通体で話 せる)	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 (普通体)んです、普通体の会話、女 性語と男性語、関西弁	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
31	平成25年 11月14日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑪面接を受け ることができる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ませ ん、ぜんぜん～ません、見える、聞こ える	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
32	平成25年 11月18日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑫洋服の寸 法直しが頼め る	・Vて形から、～、V辞書形まえに、～、 VてVます、いadj.くします(くしてくださ い)、なadj./NIにします(にしてくださ い)、普通体ので～	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
33	平成25年 11月21日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑬事物の状 態が描写でき る、不満を述 べる	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞(て形)＋ います、～のに～	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
34	平成25年 11月25日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑭災害情報 を人に聞いて 適切な行動 ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです(様態)、Vた 形＋ほうがいいです、Vない形＋ほう がいいです、体験学習練習	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
35	平成25年 11月28日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑮子供時代 や現在のこ と、将来の希 望が話せる	日本で人気がある職業 ・～(普通体)とき～、Vたり、Vたりしま す(しました)、adj./NIになります、V可 能形ようになります	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
36	平成25年 12月2日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑯情報を得て 予定を立てる	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません(かも)、～そうです (伝聞)、Vて形＋おきます、スピーチ 指導	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
37	平成25年 12月5日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑰再配達の 依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～ま でに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	

38	平成25年 12月9日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑱ATMが使 える、わから ない場所を人 に聞いて目的 地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～(条件)、Vない形と、 (条件) ・V辞書形と、～(道案内)、体験学習 練習、スピーチ指導	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
39	平成25年 12月12日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑲消防(119 番)に緊急通 報する、消防 署の講習を 受ける	災害時の対応 ・消防へ通報の仕方	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	
40	平成25年 12月16日 10:15～ 12:30	2時間	京都府国際セ ンター	13人	中国(5 人)、台湾 (2人)、アメ リカ(2人)、 インドネシ ア(1人)、ラ オス(1 人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	基礎クラスB- ⑳人の前でま とまった話が できる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、 スピーチを理解し内容について質問す る	京都「えき」 日本語教室 (指導者)	

(7) 参加者の募集方法

ちらし、ホームページ、Eメール、Facebook

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

「クリニックで診察を受けることができる」

指導内容 不調表現、身体部位名

授業の流れ

導入 動作で頭痛や腹痛の様子を示す、体温計を見せ、熱があることを示す

教室活動 ①ことば・表現を提示し、発音と意味、用法を練習する

②形容詞の過去形を提示する

③身体の部位図を見て、部位の確認をして不調表現の練習をする

④診療科の説明をする

⑤病気で医者にかかったことがあるか確認して、その時の様子を聞く

⑥問診票の書き方を説明する

⑦薬の入手方法を紹介する

⑧予約が必要な医療機関

⑨民間療法の紹介

「警察(110番)に被害を伝える」

指導内容 警察への被害届の出し方

授業の流れ

導入 被害の様子など写真や絵カードで紹介する

教室活動 ①事故、被害時のことばや表現を理解する(対訳)

②名前、住所、電話番号を言えるようになる

③会話例をもとに練習する

④警察署の話を聞く(京都府警下京警察署 通訳あり)

⑤警察官と実際にやりとりする

「消防(119番)に緊急通報する」

指導内容 消防への通報の仕方

授業の流れ

導入 事故や被害の様子を写真や絵カードで紹介する

教室活動 ①事故、被害時のことばや表現を理解する(対訳)

②名前、住所、電話番号を言えるようになる

③会話例をもとに練習する

④消防署の話を聞く(京都市下京消防署 通訳あり)

⑤電話を使い通報練習をする



(9) 取組の目標の達成状況・成果

在住外国人に対し生活に必要な日本語の学習機会を提供することに加え、地域の教室に向けた日本語学習支援のためのモデル教室として実施していることから、公開に向けた学習教材の改訂や地域日本語教室(綾部市、南丹市、亀岡市)から見学受け入れを行い、教室運営の参考としてもらった。

(10) 改善点について

来年度は学習教材および指導書の公開を予定しているため、教室見学のPRを行い、積極的な受け入れを進める。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や地域国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室立ち上げ・運営についての事業を各市町村と協働して展開し、地域における多文化共生を推進する。

(2) 事業目的の達成状況

- ・府内日本語教室のネットワーク化により各教室同士の顔の見える関係づくりや学習指導・教室運営の方法など情報共有をすることで地域格差をなくすとともに各教室が抱える課題解決の場とすることができた。
- ・人材育成講座の実施により各地域で日本語学習支援に関わる人材が確保され、外国人住民がより多くの学習機会を得られるようになった。
- ・日本語教室の開催により外国人住民へ日本語学習の機会を提供できたことに加え、カリキュラムや指導法を公開するなど地域日本語教室の参考となる教室モデルを示すことができた。

(3) 地域における事業の効果、成果

○日本語教室ネットワーク会議の実施

府北中部日本語教室のネットワーク化を実現することにより養成講座や研修などの人材育成を効果的かつ効率的に実施することができた。また、事業内容の検討の場としても機能した。

○日本語支援ボランティア養成講座

開催地や近隣地において支援ボランティアの確保や教室の新設につながりとても有意義であった。

○日本語支援ボランティア研修会

外国人学習者のニーズに応えられるよう、ボランティアに対して研修を行うことで各地域の日本語教室を支援した。

○「生活者としての外国人」のための日本語教室

地域日本語教室の参考となるよう、教室見学受入や標準的なカリキュラム案にもとづいた学習教材および指導書の改訂を実施した。

(4) 改善点、今後の課題について

i 現状

京都市を除く京都府内市町村では外国人住民は広域的に散在しており、市町村および国際化協会の多くが規模が小さいため、多文化共生事業にまで取り組むことが困難である。そのような中、多文化共生推進において要となる日本語教育については、地域日本語教室の多くは行政の支援が得られず、ボランティアの善意と熱意でようやく成り立っている現状であり、学習機会の提供、指導人材の育成、一般住民への理解促進などに課題を抱えている。

ii 今後の課題

- ・日本語教室への理解促進:日本語教育体制の充実を図るためにはその必要性を一般住民および行政に理解してもらう必要がある。そのためには日本語教育の意義を広く知らせる必要がある。
- ・日本語初期指導の取り扱い:日本語教室において初期指導の取り扱いが課題となっている。特に日本語教育の人材が不足している北中部においては顕著である。学習者は地理的事情によって当センターのような機関を利用できないので、ボランティア教室がやむなく初期指導を担っている状況でその対策が必要。

iii 今後の活動予定

- ・府内日本語教室のネットワーク化
- ・日本語学習支援人材の育成(ボランティア養成・研修、初期指導者養成)
- ・モデル日本語教室の開催
- ・日本語教育への理解促進

(5) その他参考資料

- ・アンケート結果(養成講座(南丹市)、研修会(福知山市、精華町))
- ・日本語教室テキスト(基礎Ⅰ・Ⅱ)

日本語支援ボランティア研修会（南部）アンケート集計

➤ 研修会を知った方法

- ☐ 所属する日本語教室や国際化協会をととして **9**
団体名：せいかグローバルネット **7**、城陽市国際交流協会 **1**
- ☐ 京都府国際センターHP **2**
- ☐ 知人の紹介 **1**
- ☐ その他 **10**
華創（精華町広報紙） **7**、精華町広報 **2**

➤ 参加理由

- ・スキルアップのため **4**
- ・日本語を正しく教えるため
- ・全く分からないで日本語教室に参加しているので
- ・日本語をうまく教えたいから
- ・日本語を教えるボランティアを始めたかったから
- ・日本におられる外国の方に日本語を教えたい
- ・日本語教育に興味があったから **2**
- ・興味があった
- ・日本語や、外国との交流に興味がある
- ・海外との方との交流ができと思ったから
- ・以前よりボランティアに興味があったため
- ・日本で暮らしている外国人の方々のお手伝いが出来たらと思い。
- ・需要があるなら日本語を教えたいとは思いましたが。。。
- ・少しでも日本語教育について知りたかったから
- ・このような機会がなかなかないので有益であると思いました

➤ 研修会全体について

- ☐ 満足 **13**
 - ・日本語を教える上での根本的な知識やポイントを教えていただき、大変勉強になりました。今後、日本語を教えていく上で使っていって自分のものにしたいと思います。ありがとうございました。
 - ・いい機会だった。今後もあると嬉しいです。ほんのさわりだけだったので。
 - ・プロの教え方を知るのは多いに勉強になると感じている。今後に役立てたい。
 - ・日本語を教えるということの意味が少し理解できたように思う。
 - ・文法をよく理解できていなかったなので、教材を利用し日々努力したいと思う。
 - ・たった 4 回の授業でしたが、内容たっぷりです。とても学ぶことが多かった。以前中国の方に日本語を教えたがもっと勉強してからが大切と反省させられました。
 - ・今まで知らなかった事柄を知ることができ意義深かった。
- ☐ やや満足 **9**
 - ・レベルが高くて、初めて参加した私にはついていくのが難しかったです。やっと理解しかけた頃に終わってしまったので残念でした。自分自身の日本語を考えさせられるきっかけになってよかったと思いました。
 - ・ちょっと難しすぎた。もっと勉強しないといけないと感じました。
 - ・誰かに教えるという自信が持てなかった。

- ・テンポが早く、常に自然に話していることを改めて考えたが、時間が足りなかった。
- ・全体的に熱気があり良い緊張が続いたと思います。今後につながる研修会でした。先生には深く感謝しています。

☐どちらでもない 0

☐不満 0

➤ これから日本語支援ボランティアとして地域で活動する予定ですか。

☐はい 4

☐すでに活動している 8

☐わからない 9

☐いいえ 0

☐無記入 1

➤ 今後の日本語支援ボランティア活動についての研修会開催

☐希望する 17

希望する研修の内容：

- ・初めてなので、教えるということを教わりたいです。
- ・微妙。他の問題、時期とか、費用とか他にいろいろと考えなくてはいけないので。
- ・この続きを受講できたらと思います。
- ・初心者の方の教え方
- ・日本語について
- ・学びたいことはいっぱいあるので今回以外の項目であればOKです。
- ・今回の研修よりももう少し時間をかけてレベルの高い研修を受けたいと思います。

☐希望しない 3

☐無記入 2

➤ その他、ご意見・ご要望など

- ・教室として教えるのとマンツーマンで教えることは違いがあると思った。英語を全くわからない生徒の教え方は難しい。
- ・とても有意義な研修会でした。また、第2弾、第3弾と続けて開催していただければ嬉しいです。桑島先生、ありがとうございました。
- ・先生には少ない時間で盛りだくさんの内容を、ありがとうございました。また、模擬授業に参加して下さった外国の方々、ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・日本語教室を見学してみたいです。
- ・講師が非常に熟練されているので日本語教育のポイントを押さえて教えていらっしやると思います。帰納法というか多くの事例から理解に向かわせる、あるいは生徒に能動的に授業に参加させることが重要だと改めて納得しました。
- ・ボランティア研修で習得するHOWTOだけでなく固い話をジョークやアクションが気分をやわらげてくれて、さすがプロだなあ！と感じさせられました。
- ・大変勉強になりました。良い研修会の企画、ありがとうございました。

日本語支援ボランティア養成講座アンケート結果

1. 今回の講座は何で知りましたか。

- ☐南丹市国際交流協会からのお知らせ 10 ☐南丹市国際交流協会 HP 2
☐ちらし 2 ☐お知らせなんたん 5 ☐府民だより 1 ☐新聞記事 2
☐ケーブルテレビ 0 ☐クチコミ 4 ☐国際センターHP 1
☐国際センターNEWS 1
☐その他 1（日本語教室内）

2. 参加された理由は何ですか。

- 日本語支援のボランティアのスキル・知識を勉強したいと思ったため。
- 自分自身の日本語の知識を深めると同時に外国の方々の生活に役に立てればと思い参加させて頂きました。
- 自分で何かできることはないか（ボランティア等）と考えていた。
- 現在地元で外国人研修生を指導
- ボランティアの研修として必要と思ったから。
- 日本語支援に興味があった。
- 外国人からみた日本人はどのように写っているのか知りたかった。出来たら福祉関係のサポートがしたい。
- 日本語ボランティアのスキルアップ
- 英会話講座を受講しているので、何かいかせる機会があればという思いで。
- どのようなやり方で行われているかを見る。
- 日本語を学習される方のお手伝いをしたいと思っていたから。
- 消防団の部長をしているため、在勤の八木町の在住外国人の皆様の状況を知りたかった。
- 亀岡市で日本語支援をやりたい。
- 困ってる方の助けになればと思いました。
- 支援ボランティアをやっても良いかなと思ったから。
- 日本語を教えるということに興味があった。
- 自己研さん
- 1からの基本的な教え方の基礎を学びたいと思ったこと。
- 支援者としての力を付けたい、スキルアップのため。
- 語学の学習や日常生活に活かしたいと思ったから。
- 日本語支援ボランティアに参加したいと思ったから。
- どのようなものかちょっと知りたくて。
- ホストファミリーをすることがよくあるので、その時に正しい日本語、わかりやすい日本語を話したいから。
- 自身の成長の為にこんな自分でも役立てるならと。
- 外国の方とのふれあい

- 外国人に日本語のボランティアをしたいと思っていますのでこの講座に参加しました。

3. 養成講座について

☐満足 22 ☐やや満足 3 ☐どちらでもない 1 ☐やや不満 0 ☐不満 0

理由および感想：

- 毎回楽しく勉強させていただきました。
- 実際にできるかどうかの自信は講座を受けただけではついていないのが実態なので。
- 正確な日本語はいかに難しいかを痛感
- 要点だけを理解しやすく教えていただき、よくわかりました。
- 実習なども多く、系統立てて教えていただきました。講師の話がわかりやすかったです。
- 都合で全講座の内半分くらいしか参加できなくて残念です。
- これだけの講座だけで実践というのは難があると思われる。年間単位での講座が必要ではないか。
- わかりやすくとても良かった。
- 全10回楽しく学べました。
- 貴重な体験ができた。特に外国人との実習が楽しかった。
- 英語圏の方だけでなくいろんな国の方にわかりやすく説明する方法が具体的にわかった。
- 具体的に学べたのでよかったです。

4. これから日本語支援ボランティアとして地域で活動する予定ですか。

☐はい 22 ☐いいえ 0 ☐わからない 4

- 自信がありません。
- 活動したいがすぐに活動することは難しい。
- 地元（亀岡市内で）
- できる範囲でしたい。

5. 今後、日本語支援ボランティア活動についての研修会を希望されますか。

☐希望する 24 ☐希望しない 1

希望するとされた方はどのような内容について学びたいですか。

- 模擬授業の演習
- 見学研修会
- 導入等のアイデア
- 日本語能力検定試験に対応する支援のしかた
- 支援させていただくにはこちらにもっともと言語力がないとかえって混乱されると思うから、理解を深めて支援したいです。
- 具体的な指導内容等
- テキスト本に沿った講座の展開

- 日本語をやさしく伝える方法や文法などについて
- 子供対応の教え方
- 経験者の実話や苦勞話も聞きたい。
- 今回が「入門」だとしたら、「応用」「実践」を学びたい。
- 中級～上級、実践
- 実際の授業の様子を見たい。
- 今回の養成講座の上に次のステップに進みたいと思います。
- さらにレベルアップをしたい。
- 10 日間で学んだことをおさらいするような内容があればうれしいです。
- スキルアップをしたいと思います。

6. その他、ご意見・ご要望などありましたらご自由にお書き下さい。

- いろいろとご親切にいただき、感謝申し上げます。一回一回が充実出来て楽しかったです。
- 次回の講座に期待したい（中級・実践編等）。
- 大変よい勉強になりました。ありがとうございました。
- 簡単な講座を高校とかでもして頂けたらありがたいと思います。

日本語支援ボランティア研修会アンケート集計

期間：平成 25 年 11 月 2 日～11 月 30 日

会場：京都府立中丹勤労者福祉会館

1. 研修会を知った方法

☐ 所属する日本語教室や国際化協会をとおして 17

団体名：綾部国際交流協会 5、亀岡日本語教室 5、南丹市国際交流協会 2

☐ ちらし 4

配架場所：図書館 2 ガレリア亀岡 1

☐ 京都府国際センターHP 1

☐ その他 1

・京丹後市国際交流協会よりチラシをいただいた

☐ 無記入 1

☐ 知人の紹介 0

2. 参加理由

・ボランティアのスキルアップ 9

・基礎的なことを学ぶため。

・ボランティアグループに所属し、指導スタッフになったので勉強のために参加しました。

・ボランティアをはじめたばかりなので、知識を身につけたいと思い参加しました。

・支援ボランティアの活動をこれから始めるので

・日本語ボランティアに興味があったから

・日本語ボランティアのための勉強をしたいと思った。

・外国からきたファミリーと親しくなり、日本語はどういうふうに教えるのかと思って参加させていただきました。

・日本語教育を学びたいので。

・異業種と触れる

3. 第 4 回目の研修会について

☐ 満足 11

・受身について、人の気持ちが込められていることがよくわかった。

・とても分かりやすく、ためになりました。ありがとうございました。

・よく分かるように説明をしていただきました。

・リアルな教え方が学べたと思う。

・内容、アプローチの仕方など、勉強になりました。

・非常に面白かったが、日本語は難しい。

☐ やや満足 8

・すでに日本語を教えておられる方には理解できることなのでしょうが、まったく経験のない者には難しいです。

☐ どちらでもない 2

・模擬授業の時間をもっともっと多くしてほしいです。

・いい勉強になりました。

・勉強すればするほど、難しいなと感じるとともに言葉の面白さを感じます。「先生に來られる」の例は、敬語とも関係もあり、外国人にとって難しいのでは、混同しないかなと思いました。

- ・11月はイベントが多く、4回目で初めて参加できたので、流れがよくわからなかった。

☐無記入 2

☐やや不満 0

☐不満 0

4. 研修会全体について

☐満足 14

- ・1回は出席できなかったが大変有意義であった
- ・日本語の教え方を少しでもわかったのが良かったです。まだまだ勉強しないといけない教える立場には立てないことも分かりました。
- ・多くの新しい情報を吸収することができました。ありがとうございました。
- ・第3回に出席できなくてとても残念でした。
- ・大変良い勉強になりました。ぜひともこういった機会を数多くつくってもらえると嬉しいです。
- ・講師の方がすごく情熱的に教えてくださったと思います。

☐やや満足 5

- ・何といっても模擬授業が良かったです。
- ・2回しか参加できませんでしたが、いい勉強をさせていただきました。

☐未記入 3

- ・難しかったけど、楽しめてよかった

☐どちらでもない 1

- ・質疑の時間がもう少しあれば（よかった）。

☐やや不満 0

☐不満 0

5. これから日本語支援ボランティアとして地域で活動する予定ですか。

☐はい 11

☐すでに活動している 7

☐わからない 4

☐未記入 1

☐いいえ 0

6. 今後の日本語支援ボランティア活動についての研修会開催

☐希望する 20

希望する研修の内容：

- ・模擬授業がいい勉強になります。特に、例えば来日1週間目で日本語が全くわからない人を対象に。
- ・子どもに対する支援
- ・基礎＋応用
- ・中上級の教え方、インターネットを使った教え方
- ・具体的な授業や実践

☐未記入 3

☐希望しない 0

7. その他、ご意見・ご要望など

- ・かなりしゃべれる人ばかりの模擬授業よりも、初心者対象に教えてください。
- ・防災、災害の場面での話し方の勉強をお願いします。
- ・京丹後でも日本語学校の先生による模擬授業をみせていただきスキルアップしたい。日本語教師と日本語支援ボランティアとはスキル、能力面の違いが大きく感じられる。私たちは善意だけでやっている。
- ・教室の外国人への周知、ボランティアの拡大、外国人児童・保護者へのアプローチ（府の教育部門と連携できないか）
- ・日本語に対していかに今まで無頓着だったのかがわかった。普段もう少し意味を感じて伝えたい。
- ・勉強になりました。本当にありがとうございました。
- ・とても参考になりました。